

総蛋白キット

シカリキッド m-TP

【全般的な注意】

1. 本品は体外診断用であり、それ以外の目的に使用しないで下さい。
2. 測定結果に基づく臨床診断は、臨床症状や他の関連する結果等と合わせて担当医師が総合的に判断して下さい。
3. 添付文書に記載された使用方法に従って使用して下さい。記載された使用方法及び使用目的以外での使用については、測定値の信頼性を保証致しかねます。
4. 使用する機器の添付文書及び取扱い説明書をよく読んでから使用して下さい。
5. 標準液には、ヒト由来成分が含まれており、感染の危険性があるものとして取扱って下さい。

【形状・構造等（キットの構成）】

構成試薬

シカリキッド m-TP 試薬 1

ピロガロールレッド [®] (PR).....	67.5	μmol/L
モリブデン酸アンモニウム	24.3	μmol/L

【使用目的】

尿又は髄液中の総蛋白の測定

【測定原理】

測定原理

ピロガロールレッド(PR)はモリブデン酸 [Mo(IV)] と結合し、赤色錯体を形成します。この錯体は、酸性条件下で蛋白と結合すると、青紫色を呈します。この青紫色の吸光度を測定することにより、試料中の総蛋白濃度を求めます。

特長

試薬調製の不要な無調製タイプです。

【操作上の注意】

測定試料の性質、採取法

1. 測定には尿又は髄液を使用して下さい。
2. 検体は採取後、直ちに測定に用います。すぐに測定しない場合は密栓して凍結保存して下さい。但し、凍結融解を繰返した検体の測定については、測定値の信頼性を保証致しかねます。

妨害物質・妨害薬剤

1. ヘモグロビンは正誤差を与えますので、血尿検体は高値に測定されます。
2. 尿中のクエン酸 200 mg/100mL、酒石酸 200 mg/100mL、シュウ酸 50 mg/100mL、アスコルビン酸 300 mg/100mL、尿素窒素 450 mg/100mL、尿酸 300 mg/100mL、クレアチニン 995 mg/100mL、グルコース 500 mg/100mL、還元型グルタチオン 50 mg/100mL まで影響を認めません。
3. 尿防腐剤として、ユリメジャー・タブレット、ユリペレット、チモールが使用できます。

その他

1. 検体により、検体中の目的成分以外の物質との反応や妨害反応を生じることがあります。測定値や測定結果に疑問がある場合は、再検査や希釈再検査、あるいは他の検査法により確認して下さい。

2. 測定範囲上限を超えた検体は、検体を生理食塩水で適宜希釈し、再測定して下さい。

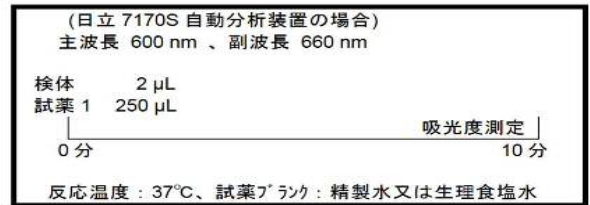
【用法・用量（操作方法）】

試薬の調製方法

試薬溶液-1：試薬 1 をそのまま使用します。
標準液：別売の m-TP 標準液を使用して下さい。

測定（操作）法

本品は各種自動分析装置に使用されますので、その操作法の一例を示します。
(自動分析装置 操作法例)



適応機種

日立 7000 シリーズ、日本電子バイオマジェスティ、東芝 FR シリーズ、ベックマン・コールター AU シリーズ等、各種分析装置へのアプリケーションシートを揃えておりますので、弊社までお問い合わせ下さい。

【測定結果の判定法】

参考正常値

尿 ¹⁾	20 ~ 120 mg/day
髄液 ²⁾	10 ~ 40 mg/100mL (部位により異なる)

使用する基準値は、各施設で決定して下さい。

【性能】

性能

(試験法は弊社試験法による)

1. 感度

- ア) 精製水又は生理食塩水を試料として操作した場合の吸光度は、0.18~0.44 の範囲です。
- イ) 標準液を試料として操作した場合、濃度 100mg/100mL 当たりの吸光度は、ア)の試薬ブランクを差し引くとき 0.06~0.18 の範囲にあります。

2. 正確性

既知濃度の管理試料を測定するとき、既知濃度の 95~105 % にあります。

3. 再現性

- ア) (濃度 100mg/100mL 未満の)同一試料を 10 回同時に測定するとき、測定値の CV 値は 5 % 以下です。
- イ) (濃度 100mg/100mL 以上の)同一試料を 10 回同時に測定するとき、測定値の CV 値は 3 % 以下です。

4. 測定可能範囲

8~480 mg/100 mL

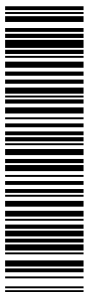
相関性試験成績

他製品との相関性

(X=他製品 Y=本品)

尿：Y=0.986X+1.542 r=0.9984 N=66

髄液：Y=0.961X-3.762 r=0.9989 N=56



AT73942 1/2<SUB>>

【使用上又は取扱い上の注意】

取扱い上（危険防止）の注意

- 1. 検体は HIV、HBV、HCV 等の感染の恐れがあるものとして取り扱って下さい。検査に当たっては感染の危険を避けるため使い捨て手袋を着用し、また口によるピペティングを行わないで下さい。
- 2. 本品は、防腐剤が含まれていますので、誤って目や口に入れたり、皮膚に付着した場合には水で十分に洗い流す等の応急処置を行い、必要があれば医師の手当て等を受けて下さい。

使用上の注意

- 1. 本品は凍結を避け、貯蔵方法に従い保存して下さい。凍結させた試薬は、決して使用しないで下さい。
- 2. 有効期間を過ぎた試薬は使用できません。
- 3. 試薬は開封後速やかに使用し、保存する場合はキャップを閉めて貯蔵方法に従い保存して下さい。
- 4. 試薬の継ぎ足しは行わないで下さい。
- 5. 装置の反応セルが蛋白等により汚染されている場合、反応セルをよく洗浄してから測定を行なって下さい。水洗浄のみで汚れが完全に落ちない場合は、次亜塩素酸を含むアルカリ溶液等の洗剤を用いて汚れを落とした後、水洗浄を十分に行なって下さい。
- 6. 試薬使用後は、速やかに装置の洗浄を行って下さい。
- 7. 本品中の容器、付属品等は他の目的に転用しないで下さい。

廃棄上の注意

- 1. 検体が付着した器具、試薬及び試薬容器等は感染の危険性があるものとし、オートクレーブ等で滅菌処理するか、1 %次亜塩素酸等の消毒液に浸して処理して下さい。
- 2. 試薬及び器具等を廃棄する場合には、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、水質汚濁防止法等の規定に従って処理して下さい。

【貯蔵方法、有効期間】

貯蔵方法

2～8℃で保存する。

有効期間

8ヶ月（使用期限は、外装に記載してあります。）

【包装単位】

- 1. シカリキッド m-TP

商品コード*	商品名（タイプ）	容量
78207	シカリキッド m-TP (SP) 試薬 1	20 mL×4

- 2. 別売品（標準液）

商品コード*	商品名	容量	上位標準物質
78208	m-TP 標準液	3 mL×3	NIST SRM927

【主要文献】

主要文献

- 1. 金井 正光 臨床検査法提要 33, 100, 2010
- 2. 金井 正光 臨床検査法提要 33, 177, 2010

【問い合わせ先】

関東化学株式会社 ライフサイエンス部
〒103-0022 東京都中央区日本橋室町 2-2-1
Tel 03-6214-1091

【製造販売業者の氏名又は名称及び住所】※

関東化学株式会社
〒103-0022 東京都中央区日本橋室町 2-2-1
Tel 03-6214-1091

